

「内閣総理大臣賞が 第7回キッズデザイン賞に新設」



キッズデザイン協議会

平素より、キッズデザインの推進に関しましてご指導、ご協力いただきましてありがとうございます。私どもキッズデザイン協議会（内閣府認証NPO、本部：東京都港区、会長：和田勇）が主催し、既に2013年3月4日（月）から応募開始している第7回キッズデザイン賞（www.kidsdesignaward.jp）に、内閣総理大臣賞が最優秀賞（グランプリ）として新設されました。これまでの経済産業大臣賞、少子化対策担当大臣賞、消費者担当大臣賞の上位に位置づけられます。次世代育成や少子化対策など、子どもを取り巻く環境にますます注目が集まる中、キッズデザイン賞の社会的、文化的な位置づけや評価が更に高まってきたと考えています。今後とも引き続きご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

■内閣総理大臣賞の新設に当たって

「キッズデザイン」のめざすものは、子どもが安全かつ感性豊かに育つための社会環境、子どもを産み育てやすい社会環境を、デザインを通じて整備することです。そのため、キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」、「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」、「子どもたちを産み育てやすいデザイン」という3つのデザインミッションから構成されています。

過去6回のキッズデザイン賞の実施によって、受賞作は累計で1067件となりました。応募は企業に留まらず、自治体、公益法人、NPO法人、福祉法人の取り組みも徐々に増え続け、全体の約20%を占めるに至りました。これは、キッズデザイン賞が、産業界だけにとどまらず、社会を構成する様々な人たちからも支持されていることを示しており、次世代育成や少子化対策への取り組みが、日本の未来のための社会全体で取り組むべき課題と捉え始められてきたからだと考えています。こうした実績が評価されて、この度の内閣総理大臣賞の新設となったと考えています。

キッズデザイン賞は、これまでの経済産業大臣賞（4本）、少子化対策担当大臣賞（2本）、消費者担当大臣賞（1本）に、内閣総理大臣賞が最優秀賞として加わることになり、最大8本の大臣賞となります。

■キッズデザイン賞とは……

キッズデザイン賞は、下記の3つのデザインミッションから構成されていて、製品・空間・サービスで優れたものを選び、広く社会へ伝えることを目的としています。子どもが使う製品はもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てへの配慮があれば応募可能です。日用品から住宅、街づくり、ワークショップ、調査研究まで幅広い分野が対象となっています。第1回から第6回までの受賞作は累計で、1067件となりました。受賞作品には「キッズデザインマーク」の使用が認められます。

＜キッズデザイン 3つのデザインミッション＞

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子どもの身体特性や行動特性、不測の状況が子どもにもたらす影響などに配慮し、技術や素材においてもその応用・活用が優れているデザイン。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの創造力を喚起・進化させる仕掛けや、身体的・精神的発育に対して新たな提案、子どものコミュニケーション能力、表現能力を高める工夫が施されているデザイン。

子どもたちを産み育てやすいデザイン

子どもの安全を確保し、かつ親（大人）の身体的・精神的負担の軽減や、出産、育児を安心して、楽しく行うための配慮がなされているデザイン。

『第7回キッズデザイン賞』実施概要

WEBサイト: <http://www.kidsdesignaward.jp/>

【応募期間】 2013年3月4日(月) 10:00 ~ 5月7日(火) 23:59

【主催】 特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会

【後援】 経済産業省

【応募部門・応募対象】

■キッズデザイン3つのデザインミッションに基づいた合計8部門で審査を行います。

①～⑧の部門からいずれか1部門を選択してください。

●子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

①子ども視点の安全安心デザイン 子ども部門

子ども(0～15歳)を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたもの。

②子ども視点の安全安心デザイン 一般部門

子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性のあるもので、安全に配慮されたもの。

●子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

③子どもの未来デザイン 感性・創造性部門

子どもの創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

④子どもの未来デザイン 学び・理解力部門

子どもが地域社会、歴史、伝統工芸などを始め、様々な知識の取得や、運動力の向上、スポーツへの参画を促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。

●子どもたちを産み育てやすいデザイン

⑤子どもたちの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門

主に子育ての当事者である親・個人(妊婦を含む)が使用、利用し、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫や心理的な負担・不安を軽減する工夫がなされたもの。

⑥子どもたちの産み育て支援デザイン 地域・社会部門

保育園、学校、自治体、地域などの施設で使用され、複数の子どもや親を対象とした、安全かつ楽しい妊婦出産や子育てを支援する工夫がなされたもの。

●上記3つのデザインミッションいずれかに基づくテーマデザイン

⑦未来を担う消費者デザイン部門

小中学生(6～15歳)を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、社会環境づくりなどで、新たな発想、工夫、手法があるもの。

⑧復興支援デザイン部門

東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるもの。被災地の子どもたちが安心して笑顔のある暮らしを1日でも早く取り戻すことに寄与する取り組み。

■次に応募の対象を次の4つの中から選択します。

商品デザイン分野

家電、おもちゃ、本、ファッション、アパレル、化粧品、靴、インテリア、寝具、キッチン、日用品、雑貨、文具、伝統工芸品、菓子、飲料、食品、スポーツ、乗り物、福祉機器、ソフト、その他あらゆる工業製品のデザイン。キッズデザインの考え方に資するシステム、機器などを含む。

建築・空間デザイン分野

住宅、施設、公園、景観、土木、造園、緑化、その他あらゆる空間・ランドスケープ・修景のデザイン。

コミュニケーションデザイン分野

イベント、ワークショップ、セールスプロモーション、パブリックリレーションなどのコミュニケーション活動のデザイン、また、企業、NPO、自治体等の団体が進める公共性の高い社会貢献活動、地域での取り組み・サービス・行事、ウェブその他の媒体等を活用したコミュニケーション活動など。

リサーチ分野

児童研究・科学技術開発などの調査・研究活動。知的財産、ビジネスモデルなどを含む。

※リサーチ分野の受賞作品は原則としてそのデータを含めた成果を公開し、社会が共有することでキッズデザインの普及に役立てることを意図しています。そのために、リサーチ分野の審査料は応募者を問わず無料としています。

【賞の構成】

第二次審査を通過した作品は、キッズデザイン賞として顕彰します。そのうち、復興支援デザイン部門を除く、7つの部門それぞれで特に優れたものに大臣賞が授与されます。

具体的には、「子ども視点の安全安心デザイン 子ども部門」、「子ども視点の安全安心デザイン 一般部門」、「子どもの未来デザイン 感性・創造性部門」および「子どもの未来デザイン 学び・理解力部門」には経済産業大臣賞が、また、「子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門」および「子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門」には少子化対策担当大臣賞が、「未来を担う消費者デザイン部門」には消費者担当大臣賞が授与されます。

また、復興支援デザイン部門の最も優れた取り組みについては、キッズデザインデザイン協議会会長賞が奨励賞として表彰します。

更には、全応募作品の中で、子ども・子育てのためのデザインの中から最も優れたものを対象に内閣総理大臣賞を1点選出します。

【応募部門および賞体系】

デザインミッション	応募部門	賞体系		
子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン	① 子ども部門 子ども(0~15歳)を直接の対象とする製品、施設、サービスにおいて、安全に配慮されたもの。 ※ 例: 誤飲事故防止のデザインがされた玩具、転倒・転落事故防止対策を施した遊具など	経済産業大臣賞 優秀賞	キッズデザイン協議会 会長賞 奨励賞	審査委員長特別賞
	② 一般部門 子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたもの。 ※ 例: 湯はさみ事故に配慮した歯ブラシ、チャイルドロックややけど防止機能の付いた家電製品など	経済産業大臣賞 優秀賞	キッズデザイン協議会 会長賞 奨励賞	
子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン	③ 感性・創造性部門 子どもは創造性、感性、五感を育み、自らが進んで創造的な行為に取り組むことを促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。 ※ 例: アート、音楽、演劇などクリエイティブな行為を促すワークショップ、施設、製品など	経済産業大臣賞 優秀賞	キッズデザイン協議会 会長賞 奨励賞	審査委員長特別賞
	④ 学び・理解力部門 子どもが地域社会、歴史、伝統工芸などを始め、様々な知識の取得や、運動力の向上、スポーツへの参画を促すもので、新たな発想、工夫、手法があるもの。 ※ 例: 環境教育、体力育成、知識やノウハウを習得するワークショップ、施設、製品など	経済産業大臣賞 優秀賞	キッズデザイン協議会 会長賞 奨励賞	
子どもたちを産み育てやすいデザイン	⑤ 個人・家庭部門 主に子育ての当事者である親・個人(妊婦含む)が使用、利用し、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫や心理的な負担・不安を軽減する工夫がなされたもの。 ※ 例: 哺乳瓶、抱っこひもなどの育児用品、育児負担軽減を考えた住宅など	少子化対策担当大臣賞 優秀賞	キッズデザイン協議会 会長賞 奨励賞	審査委員長特別賞
	⑥ 地域・社会部門 保育園、学校、自治体、地域などの施設で使用され、複数の子どもや親を对象とした、安全かつ楽しい妊娠出産や子育てを支援する工夫がなされたもの。 ※ 例: NPOが運営する子育て教室、オムツ替えに配慮した施設など	少子化対策担当大臣賞 優秀賞	キッズデザイン協議会 会長賞 奨励賞	
上記のデザインミッションのいずれかに基づくテーマデザイン	⑦ 未来を担う消費者デザイン部門 小中学生(6~15歳)を対象とし、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、社会環境づくりなどで、新たな発想、工夫、手法があるもの。 ※ 例: 金融・消費の仕組みを学ぶための製品、ワークショップ、職業体験プログラムなど	消費者担当大臣賞 優秀賞	キッズデザイン協議会 会長賞 奨励賞	審査委員長特別賞
	⑧ 復興支援デザイン部門【応募無料】 東日本大震災の被災地へ向けた復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあるもの。被災地の子どもたちが安心して笑顔のある暮らしを一日でも早く取り戻すことに寄与する取り組み。 ※ 例: 企業や団体が被災地の子ども向けにおこなったワークショップなど	キッズデザイン協議会会長賞 奨励賞		

※内閣総理大臣賞
新設
最優秀賞1点

キッズデザイン賞
第二次審査通過作品

【応募費用】

第一次審査費用: 無料

第二次審査費用: 52,500円(税込)

※復興支援デザイン部門およびリサーチ分野については無料

第一次審査を通過した作品のみ、第二次審査(現物審査)にかかる費用として52,500円が必要になります。

第二次審査を通過した作品はキッズデザイン賞が授与されます。

※自治体、ならびに、国公立の機関(学校、病院、博物館など)のみが応募者となる場合は審査料は10,500円です。

※リサーチ分野における審査料は、応募者を問わず無料とします。ただし、データシートの添付と、受賞後の公開が原則となります。

最終審査費用: 第二次審査費用に含まれます。

【応募先】

webサイトからの応募を原則とします。

応募受付サイト <http://www.kidsdesignaward.jp>

【スケジュール】

応募受付開始 2013年3月4日(月)

応募受付締切 2013年5月7日(火)

第一次審査(書類審査) 2013年5月8日(火)～5月20日(月)

第一次審査結果通知 2013年5月21日(水)

第二次審査用現物指定場所搬入期間 2013年6月中旬

第二次審査(現物審査) 2013年6月中旬～下旬

第二次審査結果通知(キッズデザイン賞告知)2013年7月5日(予定)

最終審査 2013年7月中旬

最優秀賞等発表 2013年7月29日(月)(予定)

【審査のポイント】

未来を担う消費者デザイン部門と復興支援デザイン部門を除く6部門(子ども視点の安全安心デザイン 子ども部門、子ども視点の安全安心デザイン 一般部門、子どもの未来デザイン 感性・創造性部門、子どもの未来デザイン 学び・理解力部門、子どもの産み育て支援デザイン 個人・家庭部門、子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門)は、キッズデザイン3つのデザインミッションのいずれかに適い、且つ分野ごとに定められたアピールポイントのどの内容に優れているかを審査評価します。

未来を担う消費者デザイン部門については、キッズデザイン3つのデザインミッションのいずれかへの適合性に加えて、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組みやそれに資する社会環境づくり、あるいは消費者の行動を促す取り組みなどにおいて優れているものを審査評価します。

復興支援デザイン部門については、キッズデザイン3つのデザインミッションのいずれかへの適合性に加えて、被災地復興支援の取り組み・活動で、子ども視点のあり優れているものを審査評価します。

下記は商品デザイン分野のアピールポイントです。

①機能性/操作性

- ・用途に応じた機能性が高いレベルで実現されている。
- ・明快でシンプルな使い勝手を約束している。
- ・データや事例に基づき、設計に十分な配慮がなされている。

②社会提案性/有用性

- ・3つのデザインミッションに資する、生活者に豊かな価値を提案・提供している。
- ・3つのデザインミッションに資する、社会に新しい価値を提案・提供している。
- ・子どもを取り巻く新たな市場開発、価値開発に成功している。

③新規性/独創性

- ・製品を取り巻く新たな課題発見に成功し、その解決策を提示している。
- ・従来製品(分野)を相当程度改善し、新しい価値を生み出している。
- ・ユニークな視点で開発・製造されている。

④意匠性/造形性

- ・機能が明快に意匠性高く解決されている。
- ・子どもにも大人にも、直感的に機能が理解されるデザインを実現している。
- ・フォルムや色彩感覚が優れている。
- ・用途に応じた使いやすさが十分に考慮されている。

【審査委員】

審査委員長:赤池 学 (科学技術ジャーナリスト ユニバーサルデザイン総合研究所所長)

副審査委員長:無藤 隆 (教育心理学者 白梅学園大学教授)

持丸 正明 (産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター長)

山中 龍宏 (小児科医 緑園こどもクリニック院長)

審査委員: 赤松 幹之 (産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門研究部門長)

大月 ヒロ子 (ミュージアム・エデュケーション・プランナー アイデア代表)

紺野 登 (多摩大学大学院教授 KIRO代表)

佐藤 卓 (グラフィックデザイナー 佐藤卓デザイン事務所代表)

竹村 真一 (文化人類学者 京都造形芸術大学教授)

西田 佳史 (産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター)

ひびの こづえ (コスチュームアーティスト)

益田 文和 (東京造形大学教授 オープンハウス代表取締役)

水戸岡 鋭治 (デザイナー ドーンデザイン研究所代表)

宮城 俊作 (ランドスケープアーキテクト 設計組織PLACEMEDIA・パートナー)

【生活者推薦「あなたのおすすめ！キッズデザイン」】

一般の生活者の方から、キッズデザインな製品やサービスを募集し、企業等に応募を促す生活者推薦「あなたのおすすめ！キッズデザイン」を本年も実施します。<http://www.kidsdesignaward.jp>のTOPページより、どなたでも推薦対象の投稿ができます。

【キッズデザインマークについて】

キッズデザイン賞を受賞した対象は、任意でキッズデザインマークをつけて、その成果を訴求することができます。キッズデザイン協議会が実施した一般消費者を対象に実施したアンケートにおいては、7割以上の方がキッズデザインマークのついた商品を購入したいと回答しています。

キッズデザイン賞のシンボルマーク(キッズデザインマーク)のコンセプトは「割れた形、壊れてはじめて気づく子どもの安全・安心」。

グラフィックデザイナー佐藤卓氏によるデザインです。



キッズデザインマークの使用料については、<http://www.kidsdesignaward.jp>でご確認ください。

昨年第6回に引き続き、第7回キッズデザイン賞では、マーク使用キャンペーンとして中小企業※からの応募の受賞作品には無償でキッズデザインマークをご使用いただけます。

※中小企業基本法第2条の規定による。但し大企業である親会社から出資を受けている場合は中小企業に該当しません。

復興支援デザイン部門の受賞作品についてもマークを利用無料とします。

また、キッズデザイン協議会が主催する復興支援プロジェクトに参画して活動される場合は、所定の手続きによって「KIDS DESIGN PROJECT」マークも無料で利用できます。

【第7回キッズデザイン賞応募事務局】

TEL 03-3549-0346(平日10:00~17:00) FAX 03-3549-0347

お問い合わせ専用メールアドレス 2013kids@kidsdesign.jp

— 本件の内容に関するお問い合わせ —

キッズデザイン協議会 蔦谷・川谷

TEL: 03-5405-2141

FAX: 03-5405-2143

E-Mail: info@kidsdesign.jp

FAX送信番号 <03-5405-2143>

「キッズデザイン協議会」 蔦谷・川谷 行

広報用画像 申込書 (FAX専用)

「第7回キッズデザイン賞」をご紹介いただける場合や、広報用写真を希望される方は、
必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

※下記広報担当まで掲載紙・誌を一部お送りいただけますと幸いです。

貴社名	
貴誌名・メディア・部署	
ご担当者	
ご連絡先	TEL : FAX :
ご住所	〒
メールアドレス(データ送付先)	
掲載予定日/コーナー名	
ご希望項目	
画像名	手配期限 月 日 時頃迄
1) ロゴ画像を希望 	<input type="checkbox"/> データ送信を希望
2) その他の画像を希望	希望する内容(過去の受賞作品など):
【通信欄】	

～お問い合わせ～
NPO キッズデザイン協議会
担当: 蔦谷・川谷
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-7-7
虎ノ門A3ビル4階
TEL:03-5405-2141 FAX:03-5405-2143